



2022-2023 Shari Rotary Club Bulletin

- 会長：元木 誠二 ● 副会長：村田 均、高木 壽一 ● 幹事：森田 拓巳
- 創立：1963年10月5日 ● 例会日時：毎週水曜日 12:00～13:00
- 事務所：〒099-4112 斜里郡斜里町港町1 ● 例会場：ホテルグランティア知床斜里駅前
TEL(0152)26-7978 FAX(0152)26-7980 〒099-4112 斜里郡斜里町港町16-10
TEL(0152)22-1700
- 斜里 RC 事務局メールアドレス sharirotary@peach.plala.or.jp

第 2899 回例会 2023 年 4 月 19 日(水)

発行：会報・広報・雑誌委員会

点鐘：村田 均 副会長

司会：遠藤 雄大 副 SAA

1. ゲストおよびビジター紹介 ～なし

2. ロータリーソング ～それこそロータリー

3. 会長の時間 ～村田副会長

会長が高熱を出して欠席しましたので私が代役を務めさせていただきます。

「ロータリーとは何か？」ということに関心がありましたので、それについてお話ししたいと思います。

帯広の藤丸デパートが1月に倒産しました。

十勝では「十勝愛」という言葉がありますが、その「十勝愛」という言葉のもとにロータリアン二人がデパートの再建に立ち上がりました。

この二人のロータリアンが、先ほど言いました「十勝愛」でデパートの灯を消さないように頑張ろう中心市街地をもっと活性化させようと思気投合して立ち上がったとのこと。

ただ、再建には10億円以上の巨額なお金がかかるし、また、この二人とも「よそ者」（二人とも東京生まれ）だからこそ「十勝愛」という言葉に感動したんだと思います。

デパート経営の経験もないので非常に苦労していると、つい最近の新聞に載っていました。

ロータリアンは世界中にいます。ましてや2500地区にもたくさんいます。お金じゃなくて経験とかアドバイスとかロータリアン同士で関係を持ってお互いに力を合わせて助け合い、そして地域を盛り立てて行くのもロータリアンの大きな責務の一つではないかと思えます。



4. 幹事報告 ～森田幹事

- ・4/12の理事会で、IM及び60周年事業用に作ったベストを会員に配布することに決まりましたので、幹事が個別に配布します。
- ・前回例会でもお知らせしましたが、6/24(土)旭川モーニングRC創立30周年記念式典に出席希望の方は、自己負担分3,000円と共に幹事まで5/24(月)までにお申し付け下さい。
- ・ロータリー用品のカタログが届いていますので回覧します。

5. 委員会、その他の報告 ～村田副会長

- ・浦田 ロータリー財団委員長～ロータリー財団年次寄付を集めます。一人2,000円ですのでよろしくお願いいたします。
- ・樽見 IM 実行委員会幹事～4/26(水)の夜間例会ではIMの報告会を行います。また、IMで使用した腕章をお持ちの方は私がお預かりしますので例会の時にでもお持ち下さい。それから、IMの登録料(3,000円)お忘れの方は、窪田会員にお渡し下さい。

6. 本日のプログラム ～地区研修・協議会参加報告

◆豊島 次年度 幹事

今回は、紋別には泊まることが出来ないのので9時からの登録に間に合うよう朝6時過ぎに斜里を出発しました。

紋別には、2時間10分ほどで到着しました。まだ8時半位だったのですが、すでにたくさんの方が来ているのにびっくりしました。10時から基調講演ということで甲府 RC 高野孫左衛門 という方の「希望」を生み出す元気なクラブをめざして というテーマの講演を聞きました。

その後、本会議があり、昼食後それぞれの分科会に移動しました。

私は、第2分科会で幹事、会計、会場監督、事務局、会報、広報が対象者です。

幹事についてのお話の中で、「幹事は、おせっかい役をするのが一番良い」とか「幹事は、仕事が多いからうまく振り分けるようにする方が良い」などとアドバイスをいただきました。

紋別は、みぞれ模様でしたので早めに切り上げて帰って来ました。



◆森田 幹事

私は、基調講演について報告させていただきます。

講師は、第2620地区のPastガバナーの高野孫左衛門 さんで、「元気なクラブをめざして」という講演がありました。

高野さんご自身の経験上のことと「MY ROTARY」から引用した資料を使いながら見やすく、聞きやすい講演をしていただきました。私が、その中から皆さんにお伝えしたいのが「クラブの健康チェック」というものでありまして、講演の中では中身までの資料は無かったので帰って来てからホームページから引っ張った内容を説明させていただきます。

「クラブの健康チェック」というのは、例えば「会員増強」など大きなテーマがありまして、テーマごとにアンケート形式で問診がありまして、それによりイエスが多ければ「健康」少なければ「不健康」の診断が出来るという「チェックシート」が見つかりまして、「不健康」と診断されたら治療のための「処方箋」が出るというものでした。

今回の研修に参加させていただいて感じたことは、各委員長さんに「MY ROTARY」から担当部門の情報をどんどん引っ張って、村田年度の活動方針の材料にいただければ非常によろしいかなと感じました。



◆田中 次年度 公共イメージ委員長

個人的には、2回目の「地区研修・協議会」に参加させていただきまして、今回は「公共イメージ委員長」という立場で参加させていただきました。

一番印象に残ったのは、新しいガバナーの「今こそ変わる勇気を！ さあ、一歩前へ」というスローガンを掲げていらっしゃるのですが、「変わる変化」ということを非常に訴えていたと自分の中では思いました。

「変わる」ということを言葉にするのは簡単ですが、やはり何がどう変わるのかということ、きちんと考えていかなくてはいけないのかなと思いました。

僕の役目としては、今回「公共イメージ委員長」ということですので、そういう部分で具体的にどのように変わるのか、そこまで落とし込んでいかなくてはと思いました。



◆日下 次年度 国際奉仕・R財団 委員長

私は、第5分科会 ロータリー財団 担当です。

全体会議は、紋別市民会館でありまして、会場がなかなかなくて、そこから分科会が3つの会場に分かれ、私の会場はパレスホテルだったのですが、みぞれが降っていましたので鈴木会員とタクシーで向かいました。

送り迎えがなくて準備不足の感は否めませんでした。



分科会のテーマは、8つありました。

その中で皆さんにお伝えするのは、「地区補助金」については、いつもR財団担当の例会で懇切丁寧にやるんですが、要は「地区の補助金を使って事業を行ってください。」ということです。

ただ、例年と違うことは、「奉仕事業」すなわち、寄付だけでなく色んなことにロータリアンが参加するという事業については、66%補助、50万円までが枠ですよ、変わったのは多分寄贈事業は30%補助で30万円までですよ、ということだと思います。

「VTT」についてですが、これは専門職の方々を後進国へロータリアンの方々と一緒に行って研修チームをつくり、そちらの国の方々を助けるというプログラムです。

これには、「グローバル補助金」を使って事業展開をするというように思いました。

それから「米山奨学金」というのは、基本的には海外から留学生を招くのですが、これは「米山奨学館」が限定的に海外から日本へ来る奨学生を支援するというように決まっているようです。

私は、次年度はR財団担当ですので機会があればもう少し詳しくお話しさせていただきます。

◆鈴木 次年度 職業・社会奉仕 委員長

私の話は、毎回いつも「飲んだ、食べた」の話で終わっていたような気がしますが、久々に当日行って、当日帰るといふかたちになりました。

私は、第3分科会の青少年部門に参加しました。

地区のライラ委員長の北見 RC 主藤さんが、おっしゃっていましたが、(皆さんのお手元にライラ開催のパンフレットを配布しました)何とか各企業さまにお願いして、若い方がいれば是非北見まで来ていただいてライラセミナーに参加していただきたいという強い希望がありましたのでよろしく願いいたします。



◆村田 次年度 会長

地区研修・協議会に参加されたメンバーには感謝したいと思います。紋別市は、人口2万人位と聞いてビックリしました。

私は、もっと大きな都市だと思っていました。街は、どれが大通りなのか、どこが商店街なのか良くわかりませんでした

ガバナーを出した紋別港 RC というのは、会員が27人で斜里より少なく、会員それぞれが準備をしたとは思いますが、駐車場の案内も無く右往左往しました。

いつもなら、一泊してお酒を飲みながらロータリー談義をするのですが、紋別にはホテルが2軒しか無く泊まることが出来ないため、無理して朝早く出発することになりました。

「地区大会」は、10/7(土)~8(日)です。泊まれないので、今までとは違う形になるかと思えます。

地区活動計画書によりますと、9/6(水)斜里 RC 公式訪問(この日、日中は清里 RC ですので斜里は夜例会となります) 10/7(土)~8(日)地区大会(紋別) 10/29(日)斜里 RC 創立60周年記念式典

11/11(土)網走 RC 創立70周年記念式典 4/14(日)地区研修・協議会(帯広)となっております。

今日は、会長の代理でここに立っていますが、7月からの「会長の時間」には毎回私が立つこととなります。

今、「会長方針」を考えていますが例会の目玉は「会員卓話」だと思います。

会員卓話の重要性は、それぞれの職業を通じてお互いに吸収し合って成長していくことだと思います。キャッチフレーズは「ロータリーを楽しもう、そして自分自身を磨こう」という趣旨で考えています。堅苦しい感じもしますが、楽しく自分自身を磨き上げることがロータリアンにとって良いことではないかと思えます。

そして、ロータリーの参考書に「6週間に1回はロータリーを学ぶ例会にしなくてははいけない」それが大切ですよ、と書いてありました。そのことが「ロータリーを楽しむ」ことにつながると思えます。

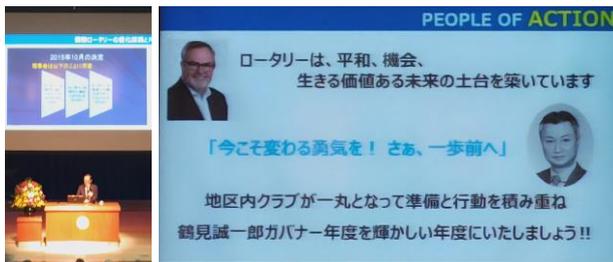
7月からは、「笑いのある学べる例会」にしたいと思っております。



第2500地区地区研修・協議会

2023/4/16 (日) ホストクラブ 紋別港 RC

斜里 RC 9名登録



4月20日 武藤会員が招かれて美幌 RC で卓話を行いました。



7. ニコニコ B O X ~富樫 親睦活動委員

- ・結婚記念祝〜丹羽会員

8. 出席報告 ~樽見 出席・プログラム委員長

- ・本日出席〜32名中17名出席 (出席率: 53.1%)

☆ 幹事より次回例会の案内

- ・次回は4/26(水)第2900回例会 100回区切りの夜間例会 (ZERO) (担当: IM実行委員会)



2022-2023 国際ロータリーのテーマ

イマジン ロータリー

斜里 RC 会長のテーマ

自分にとってのロータリーの
魅力を発見しよう